

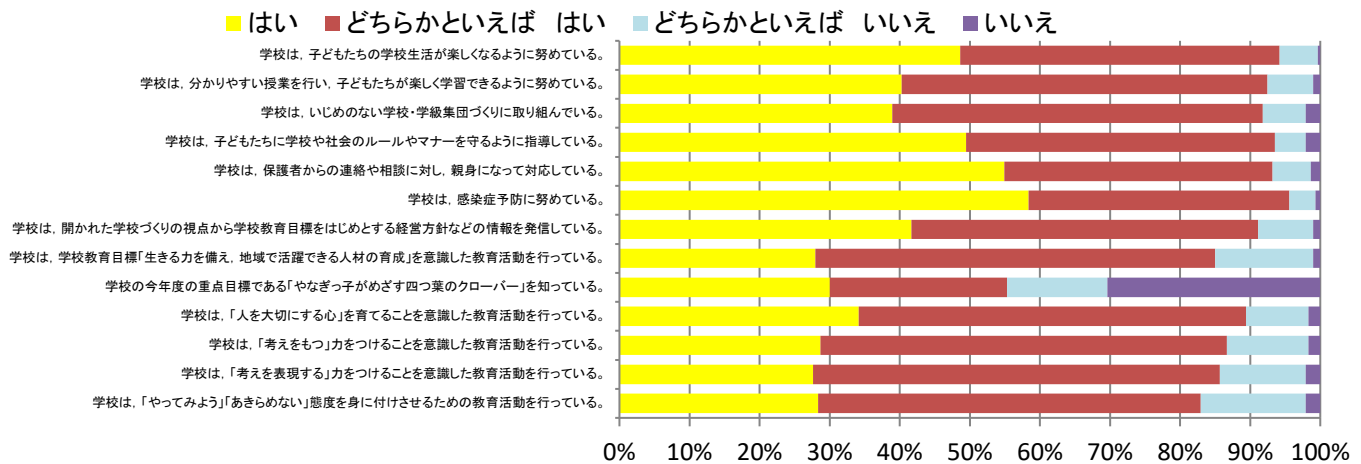
保護者様  
(家庭数)

令和3年度後期 学校評価アンケート結果のお知らせ

柏市立高柳小学校  
校長 中田 敦子

お忙しい中、後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。  
集計結果をご報告するとともに、皆様からいただきました貴重なご意見につきましては、来年度の学校運営に活かしていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

【全体を通じて】



多くの項目で「はい」「どちらかといえばはい」が80%を超える高い評価をいただきました。特にコロナ禍で、安全安心の根幹に位置する「学校は、感染症予防に努めている。」の項目で96%の評価をいただきました。もちろんご家庭の協力もあり児童はその意味をきちんと理解し、率先して安全対策を行っていました。また、第6波が日本を覆う社会情勢の中、発症者が出ることはもはや仕方のないことではありますが、学校内で感染を広めないために、最も重要視していた項目の一つです。多くの行事ができなくなる中、あきらめるのではなく、できることを考えようと地域の方と一緒に進んできました。その結果、「学校は、子どもたちに学校や社会のルールやマナーを守るように指導している。」「学校は、子どもたちの学校生活が楽しくなるように努めている。」の項目でも、93%という高い評価をいただきました。

一方、「学校の今年度の重点目標である『やなぎっ子がめざす四つ葉のクローバー』を知っている。」については、59%と最も低い評価でした。ただし、これは前期の43%という結果と比べると、少なからず上向きです。それでも、まだまだ満足のいく結果ではありません。引き続き、四つ葉のクローバーを学校の重点目標と位置づけ、教育活動を進めていきたいと思えます。

【自由記述欄より】

コロナウイルス感染症対策を講じながらの教育活動への慰労のお言葉を沢山いただき、職員一同大変励みとなりました。ありがとうございました。ご指摘で最も多かったのは、293名の回答の中で16名の方からいただいた、教員の指導法に関するものでした。感謝の言葉もいただきましたが、その一方、言葉遣いに関するご指摘をいただきました。児童への指導の中で不適切と思われる言動があるということでした。ご指摘は真摯に受け止め、児童の気持ちに寄り添った指導を行うべく、気を付けていきたいと思えます。また、改善策の一つとして、複数での指導・校内での生徒指導についての研修・問題を一人で抱え込まない組織としての対応に努めてまいりたいと思えます。

次に多かったのは、11名の方からいただいたコロナ禍における学校行事への取り組みについてです。こちらは「動画配信により、学校の様子があった」という意見をいただきましたが、それでも「子供たちの学校生活を見る機会がない」という意見もありました。これからも、コロナ禍が続くと考え、引き続き教育委員会と共に環境整備に取り組んでいきたいと思えます。今現在、学校内のLAN配線が脆弱で、ご不便をおかけしているところですが、今ある設備でできることを模索していきます。また、「教員により、コロナ対応が違う。」という意見がありました。学校内では、日々変化する社会情勢に合わせ、共通理解を図っています。そのため、ある時はOKだったものが、ある時からNGになることもあります。また、保育園が休園したとしても、濃厚接触者が特定された場合は、登校できる場合があります。もし、迷った場合は、学校までご連絡ください。最後に、「アルコール消毒を給食時以外にも使えるようにしてほしい。」という意見もありましたが、文科省の指針では「手指用アルコール消毒液は、流水での手洗いができない際に補助的に用いる」とされています。そのため、学校では石鹸による手洗いを徹底させるようにしています。

他にも、多くのご意見をいただきましたが、研修による力量アップ、組織的対応により、ベテラン・若手教員の持つ良さを活かし、ご期待に添えるように努めてまいります。子どもたちの健やかな成長を願ううえで大切なご意見として参考にさせていただきます。